

(2017年度)

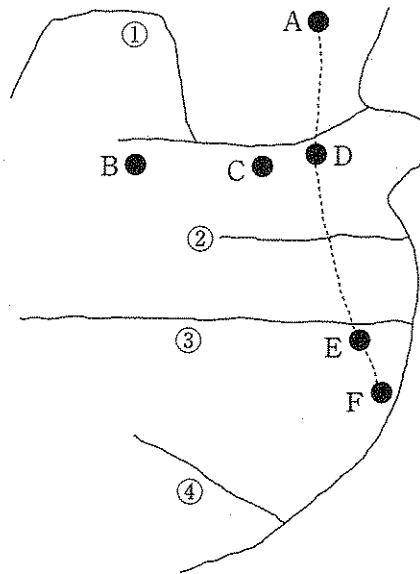
1 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は20ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，試験監督者から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は，解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけたりしてはならない。また，マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

- 1 次の図は中国史上の主要河川と歴代の首都を示した概念図である。①～④は主要河川，AからFは首都であった都市，点線は運河である。この地図について以下の設問(1～4)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)からもっとも適切なものを選んで解答欄にマークしなさい。ただし，問2，問3は2つ，その他は1つ選ぶこと。



設問1 農業生産について

中国の北部と南部とでは農業生産の形態が大きく異なっている。このことに関する問(1～5)に答えなさい。

問1 北部と南部の境界線はどのあたりに引くことができるか。

- a ①の中・下流域より北部 b ①の中・下流域とほぼ一致
c ②とほぼ一致 d ③とほぼ一致 e ③と④の間

問2 いわゆる黄河文明を支えた主要な作物は何か。2つ選びなさい。

- a イネ b キビ c トウモロコシ d ジャガイモ
e アワ

問3 宋代の南部で生産がとくに盛んになった作物は何か。2つ選びなさい。

- a 茶 b ヒエ c ブドウ d 桑 e オオムギ

問4 北部と南部における主要穀物の生産力の高さは、ある時期を境に南部の方が高くなる。それはいつか。

- a 晋の勢力が南下し、東晋が再建された4世紀ころ
b 陳が滅び、隋によって南北朝が統一された6世紀ころ
c 宋が金の圧力によって南遷した12世紀ころ
d モンゴル民族が大帝国を樹立した13世紀ころ
e 明から清へ王朝が交代した17世紀ころ

問5 大航海時代以前に中国で普及していた作物はどれか。

- a トマト b サツマイモ c サトイモ d カボチャ
e トウガラシ

設問2 BCDを首都としていた時代について

中国史を概観すると、歴代の王朝はBCを首都としていた東西並列時代からAEを首都としていた南北並列時代へと移行した。その移行期がDF時代であった。このうちBCDを首都としていた時代に関する問(6～10)に答えなさい。

問6 Bを首都とした王朝はどれか。

- a 後漢 b 西晋 c 北魏 d 西魏 e 北斉

問7 隋はBの旧城近くに都を築いたが、それは何とよばれたか。

- a 京城 b 平城 c 開城 d 丸都城 e 大興城

問8 BCDは河川①の流域にあった。次の文章のうち誤っているものはどれか。

- a 周王朝の都は前8世紀に①の支流(渭水)流域から、東方の①中流域へ移動した。
- b 秦王朝は①の支流(渭水)流域西部の後発地域から東方へ進出して天下を統一した。
- c 漢王朝の都は1世紀に①の支流(渭水)流域から東方の①中流域へ移動した。
- d 北魏王朝は5世紀末に北方から①流域に遷都した。
- e 唐王朝の建国者集団は①の支流(渭水)流域西部で勢力を築き、東方に進出した。

問9 Cに関する記述のうち誤っているものはどれか。

- a 盆地の中心地域にあり、東西交通路の要衝であった。
- b 周公旦が建設し、東方支配の拠点とした。当初は大邑商とよばれた。
- c 五胡十六国時代、仏図澄がCに至り、仏教の布教活動をおこなった。
- d 孝文帝は平城からCに遷都し、漢化政策を推進した。
- e 南方の竜門には石窟寺院が建設された。

問10 Dに関する記述のうち誤っているものはどれか。

- a 五代時代、後唐を除く四王朝がこの地を都とした。
- b 『清明上河図』はこの地の繁栄を描いたものとされている。
- c 12世紀に金がこの地を征服し、徽宗・欽宗等は北方へ連行された。
- d 金がこの地を征服して北宋が滅んだ事件を靖難の役とよぶ。
- e 高宗はDからFに都を移し、金に臣下の礼をとった。

設問3 AEFを首都としていた時代、Aは北部の重要都市、EFは南部の重要都市として、それぞれが同時に歴史的な役割を果たしていた。この時代について、以下の問(11~14)に答えなさい。

問11 AとEFのそれぞれが同時に歴史的な役割を果たす時代はいつから始まったと考えられるか。

- a 遼がAを上京とし、宋がEを都として建国した10世紀
- b 金がAに遷都し、宋がFで再建された12世紀
- c 元がAを大都とし、宋がFを都としていた13世紀
- d 明がEを首都として建国し、Aが北平とよばれていた14世紀
- e 明がEからAに遷都した15世紀

問12 Aに関する以下の記述のうち誤っているものはどれか。

- a この地域には戦国時代の七雄の一つにあげられる燕が成立していた。
- b 安祿山はこの地域を拠点として勢力を広げていた。
- c 遼代には燕京とよばれていた。
- d モンゴルのオゴタイはここに首都を建設した。
- e 燕王朱棣は内乱を起こして政権を獲得し、Aに首都を遷した。

問13 Eに関する以下の記述のうち誤っているものはどれか。

- a 司馬睿はここを都として東晋を建国した。
- b 南朝の四王朝はすべてここを都とした。
- c 唐代には大運河の要衝として繁栄し、蕃坊が設けられていた。
- d 永楽帝が遷都した後、現在の名称になった。
- e アヘン戦争後の講和条約はここで締結された。

問14 Fに関する以下の記述のうち誤っているものはどれか。

- a ここは大運河の南端である。
- b この地には西湖があり、風景の美しさで知られている。
- c マルコ=ポーロはここをザイトンとしてヨーロッパに紹介した。
- d 南宋は仮の都をここに置き、反転攻勢の機会をうかがっていた。
- e 現在、ここは浙江省の省都である。

設問4 設問2の説明文にあるような、BC→DF→AEの変化をどうみるか、さまざまな角度からの議論が考えられるところである。この点に関して問(15・16)に答えなさい。

問15 DFの共通点は何か。誤っているものを選びなさい。

- a DFとも宋王朝の首都であった。
- b DFとも物流の要としての役割を果たしていた。
- c DFは10～13世紀の間に王朝の都となっていた。
- d DFが同一王朝の首都であったとき、皇帝は劉氏であった。
- e DFとも北方民族の攻撃を受けて占領された。

問16 次の考え方のうち明らかに誤りを含むものはどれか。

- a AEFの時代は全国的な物流が盛んであったので、それを統制する必要があった。宋代に新法が出されたが、物流に関連する政策は保馬法であった。
- b BCの時代は地域的な物流が主で、その統制は比較的容易であった。古来の政治的中心地を首都として、塩や鉄の専売を実施した。
- c AEFの時代には周辺民族が強大になった。統一政権は彼らと農耕民の双方を支配するためにAを重視していた。大都への遷都はその一典型である。
- d BCの時代は周辺民族の力が比較的弱く、制御しやすかった。BCを征服した北方民族の王朝には漢化政策を採用したものもあった。
- e AEの時代には支配領域が広大になった。この一つの対策として首都Aを中心とする駅伝制度が実施され、全領域の支配に重要な役割を果たした。

2 【A】と【B】の文章を読んで、問1～19に答えなさい。解答は選択肢(a～d)からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

【A】 アラビア半島を囲む紅海やアラビア海では、古くから季節風を利用した海上交易が盛んであった。それは、1世紀半ばの地理書『エリュトウラー海案内記』⁽¹⁾にみてとれる。しかし、6世紀後半になると、ビザンツ帝国⁽²⁾の国力低下とともに、その支配していた紅海貿易が衰えた。また、ササン朝⁽³⁾とビザンツ帝国とが戦いをくりかえしたために、東西を結ぶ「オアシスの道」⁽⁴⁾は両者の国境でとだえた。その結果、「オアシスの道」や「海の道」によって運ばれた各種の商品は、いずれもヒジャーズ地方⁽⁵⁾を経由するようになり、メッカの大商人は国際的な中継貿易を独占して大きな利益をあげた。

このメッカに生まれたムハンマド⁽⁶⁾は、610年頃唯一神アッラーのことばを授けられた預言者⁽⁷⁾であると自覚し、厳格な一神教であるイスラーム教をとなえ

た。630年⁽⁸⁾、ムハンマドは無血のうちにメッカを征服し、多神教の神殿であったカーバ神殿をイスラーム教の聖殿に定めた。

⁽⁹⁾イスラーム教の聖典は『コーラン(クルアーン)』⁽¹⁰⁾であり、ムハンマドに啓示された、神の教えの記録とされる。イスラーム教の教義を後世の学者たちが簡潔にまとめたものが六信五行⁽¹¹⁾である。イスラームの紀元元年はヒジュラ(聖遷)⁽¹²⁾があった年であり、この年からはじまる暦がイスラーム暦である。

問1 下線部(1)に関連して、誤っている記述はどれか。

- a エリユトウラー海は現在の紅海を指す。
- b ローマ帝国が珍重した代表的な産物は胡椒であった。
- c 交易の中心であった南インドの代表的な交易品は綿布であった。
- d 『エリユトウラー海案内記』はペルシア人によって著されたとされる。

問2 下線部(2)に関連して、ビザンツ帝国(東ローマ帝国)は何年に滅亡したか。

- a 1445 b 1448 c 1453 d 1458

問3 下線部(3)に関連して、ササン朝は何年に滅亡したか。

- a 642 b 651 c 660 d 669

問4 下線部(4)に関連して、「オアシスの道」の要衝として栄えたブハラは、現在のどの国にあるか。

- a ウズベキスタン b カザフスタン c タジキスタン
- d イラン

問5 下線部(5)はアラビア半島のどこに位置するか。

- a アラビア半島北部 b アラビア半島南部 c アラビア半島西部
- d アラビア半島東部

問6 下線部(6)に関連して、ムハンマドの生家であるハーシム家の末裔を国王とする国はどれか。

- a ヨルダン b カタール c モロッコ d サウジアラビア

問7 下線部(7)に関連して、イスラーム教からみた預言者を年代が古い順に並べると、正しい組み合わせはどれか。

- a ダヴィデー—モーセ—ソロモン—アブラハム
b モーセ—ダヴィデー—ソロモン—イエス
c ソロモン—ダヴィデー—イエス—アブラハム
d アダム—ソロモン—ダヴィデー—イエス

問8 下線部(8)に関連して、630年にアジアで起きた出来事として正しい組み合わせはどれか。

- ア 白村江の戦いで日本は大敗した。
イ 東突厥が唐の攻撃を受けて一時服属した。
ウ 義浄がインドへ赴いた。
エ 遣唐使がはじまった。
a アーイ b アーウ c イーエ d ウーエ

問9 下線部(9)に関連して、誤っている記述はどれか。

- a イスラーム以前のアラブ諸部族はカーバ神殿に巡礼していた。
b カーバ神殿は、メッカの聖モスクの隣に位置する。
c ムスリムはカーバ神殿の方向に向かって礼拝をする。
d カーバ神殿は四角い形をしている。

問10 下線部(10)に関連して、『コーラン(クルアーン)』を現在の形にまとめたと思われる第三代カリフは誰か。

- a マンスール b アブー＝バクル c ウスマーン d ウマル

問11 下線部(11)に関連して、六信に含まれないものはどれか。

- a 預言者たち b 来世 c 聖人 d 天使

問12 下線部(11)に関連して、五行に含まれないものはどれか。

- a ジハード(聖戦) b ザカート(喜捨) c サウム(断食)
d ハッジ(巡礼)

問13 下線部(12)は西暦何年であったか。

- a 620 b 622 c 624 d 626

【B】 ムハンマドの死後、アラブ人は大規模な征服活動を開始し、支配地域を広げていった。そして、多くのアラブ人が征服地に移住した。そのような征服地としてはじまった都市の一つがカイロである。カイロは、ファーティマ朝⁽¹³⁾が軍営都市⁽¹⁴⁾として建設したことにはじまった。ファーティマ朝は(15)に首都を建てたシーア派の王朝であり、969年エジプトを征服し、カイロに新首都を建設した。

カイロは、サラディン⁽¹⁶⁾(サラーフ=アッディーン)がおこしたアイユーブ朝をへて、マムルーク朝中期には、インド洋・地中海貿易の中継点となり、「千の塔の都」として称えられ、大いに繁栄した。マムルーク朝時代に信仰と学問分野⁽¹⁷⁾において中心的役割を果たすようになったアズハル学院⁽¹⁸⁾は、現在もイスラーム世界で大きな権威を有している。

問14 9世紀後半から10世紀前半にかけて、イスラーム世界では、下線部(13)のファーティマ朝のほか、ブワイフ朝とサーマーン朝も成立した。これら三つの王朝を成立年代が古い順に並べると、正しい組み合わせはどれか。

- a ブワイフ朝 — サーマーン朝 — ファーティマ朝
b ブワイフ朝 — ファーティマ朝 — サーマーン朝
c サーマーン朝 — ブワイフ朝 — ファーティマ朝
d サーマーン朝 — ファーティマ朝 — ブワイフ朝

問15 下線部(14)に関連して、征服地に建設された軍営都市をアラビア語で何というか。

- a ミスル b メディナ c ザーウィヤ d ウンマ

問16 空欄(15)に入る都市名はどれか。

- a ダマスクス b マフディーヤ c バグダード d コルドバ

問17 下線部(16)に関連して、誤っている記述はどれか。

- a サラディン(サラーフ=アッディーン)はクルド人武将である。
b サラディン(サラーフ=アッディーン)は第3回十字軍を退けた。
c サラディン(サラーフ=アッディーン)はシーア派の王朝を建てた。
d サラディン(サラーフ=アッディーン)はファーティマ朝の宰相であった。

問18 下線部(17)に関連して、モスクに付随する尖塔をアラビア語で何というか。

- a ミナレット b ミンバル c ミフラーブ d ミツレット

問19 下線部(18)に関連して、正しい記述はどれか。

- a アズハル学院は初めスンナ派の教義を教えた。
b アズハル学院は現存するイスラーム世界で第二に古いマドラサである。
c ムハンマド=アブドゥフはアズハル学院で教えた。
d アズハル学院はアイユーブ朝期に創設された。

3 次の文章を読んで、問(1～3)に答えなさい。

宮殿は、君主や貴族、高位聖職者の一族等が居住する建築で、儀式など公的な機能も有していた。英語でパレス、イタリア語でパラッツォというが、その語源は古代都市ローマの七つの丘の一つパラティウムである。フォロ・ロマーノの近

くにあるこの丘に、実質的な初代皇帝であった(1)をはじめとして歴代皇帝の宮殿がたてられたのである。

カール大帝が(2)にたてた宮殿は、^(B) 宮廷礼拝堂と空中廊下でつながっていた。この八角形平面の宮廷礼拝堂は、(3)帝が造営に関与した(4)のサン・ヴィターレ聖堂を模している。サン・ヴィターレ聖堂には(3)帝と妻テオドラのモザイクが今も残っている。初代ノルマン朝シチリア王(5)がパレルモにたてた宮殿の宮廷礼拝堂にも美しいモザイクが残る。この宮殿にはビザンツ様式のモザイクや西欧ロマネスク彫刻、そしてムカルナスなどイスラーム様式の建築が混在しており、12世紀当時のシチリアが国際都市であったことがしのばれる。

ローマのサン・ピエトロ聖堂に隣接して建造されたヴァチカン宮殿は、8世紀にはすでに存在していたことが確認されている。しかし、教皇の住居となったのは教皇がアヴィニオンから帰還して以降である。15世紀にはヴァチカン宮殿にシ^(C)ステイナ礼拝堂が増設され、⁽⁷⁾ ボッティチェリ等フィレンツェの画家が側壁にフレスコ画を描いた。次の世紀に入ると、ミケランジェロがこの礼拝堂の天井に(6)を、祭壇壁面に(7)を描いた。その後、ヴァチカン宮殿は18世紀後半に美術館として公開され、古代中世美術の他、⁽⁴⁾ レオナルド＝ダ＝ヴィンチ、⁽⁷⁾ ラファエロ、カラヴァッジョ等、ルネサンス・バロック美術の巨匠の作品が展示されている。

ルーヴル美術館もかつてはフランス王宮であった。フランス国内のイングランド領を^(D) ジョン王から奪ったことで知られる(8)がたてた要塞がもとである。1682年に(9)がヴェルサイユ宮殿に移った後、1692年に王室美術コレクションの収蔵、展示場所となった。ルーヴル宮殿には、さらにフランス学士院が収容され、美術・文化の中央集権化の拠点となった。新古典主義(古典主義)の画家(10)の作品をはじめ、数多くの傑作を所蔵している。

メキシコシティの中心部にたつ国立宮殿は、スペイン人コンキスタドールのコルテスがアステカ王国の宮殿を破壊した跡にたてた。今日の重厚なスペイン・バ^(E)ロック様式の巨大な宮殿の壁面には、ディエゴ＝リベラによって1929年から1935年にかけて壮大な「メキシコの歴史」が描かれた。アステカ時代、メキシコ独立、

そしてメキシコ革命以降までの歴史を描いたこの絵は、字が読めない民衆に対して絵^(F)によってメキシコ人のアイデンティティをうったえたメキシコ壁画運動を代表する作品である。

問1 空欄(1~10)に入れるもっとも適切な語を選択肢(a~e)から1つ選びなさい。

- (1) a アントニウス b ネルウァ c クラッスス
d カエサル e オクタウィアヌス
- (2) a アーヘン b ケルン c ヴォルムス
d アウクスブルク e リューベック
- (3) a ユスティニアヌス b テオドシウス
c デイオクレティアヌス d ユリアヌス
e コンスタンティヌス
- (4) a ミラノ b ボローニャ c ラヴェンナ
d ヴェネツィア e ローマ
- (5) a ルッジェーロ1世 b ルッジェーロ2世
c ウィリアム1世 d ウィリアム2世
e ロベール=ギスカール
- (6) a 「最後の晩餐」 b 「最後の審判」 c 「天地創造」
d 「四人の使徒」 e 「三王礼拝」
- (7) a 「最後の晩餐」 b 「最後の審判」 c 「天地創造」
d 「四人の使徒」 e 「三王礼拝」
- (8) a フィリップ2世 b ルイ9世 c シャルル7世
d フランソワ1世 e アンリ3世
- (9) a シャルル9世 b アンリ3世 c アンリ4世
d ルイ13世 e ルイ14世
- (10) a ミレー b モネ c ドーミエ d クールベ
e. ダヴィド

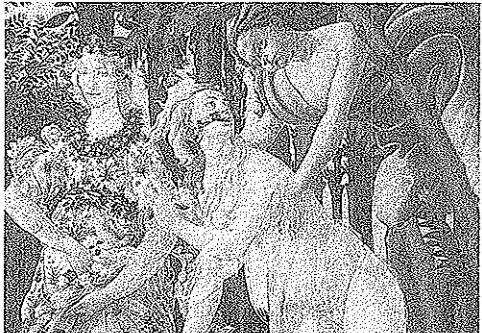
問2 下線部(A～F)に関する文章で誤っているものを選択肢(a～e)から1つ
選びなさい。

- (A) a 運動場や浴場からなる娯楽施設であった。
b 神殿や公会堂があった。
c ローマ市民の政治や生活の中心であった。
d 集会や裁判に利用された。
e 元老院議事堂があった。
- (B) a ランゴバルド王国を倒した。
b 教皇レオ3世により戴冠された。
c 聖俗2名からなる巡察使に、地方を巡回させた。
d ザクセン人はカール大帝に敗れたのち、カトリックに改宗した。
e カール＝マルテルの子である。
- (C) a スペイン人教皇クレメンス5世が教皇庁をアヴィニョンに移した。
b フランス王フィリップ4世が教皇庁をアヴィニョンに移させた。
c ヘブライ人のバビロン捕囚になぞらえられた。
d 教皇庁がローマに戻ってからでも混乱は続き、大シスマにいたった。
e アヴィニョンはローヌ河沿いにある。
- (D) a カンタベリ大司教任命問題で、インノケンティウス3世に破門され
た。
b プランタジネット朝の3番目の王であった。
c 大陸部に相続する所領を有していなかったため、「欠地王」と呼ばれ
た。
d ジョン王が承認した大憲章は、国王と都市民の関係を定めたもので
ある。
e ジョン王が承認した大憲章によって、王権は制限されることとなっ
た。

- (E) a 14世紀から16世紀にかけてさかえた。
- b アステカ王国が支配したメキシコ中央高原にはかつて、テオティワカン文明やトルテカ文明がきずかれた。
- c 配下の都市に自治を認めない中央集権体制がきずかれた。
- d 16世紀にはメキシコ中央高原から太平洋岸までを支配下においた。
- e アステカ人はかつてメキシコ北部に住んでいた。
- (F) a メキシコ革命を呼びかけたマデロはウェルタ将軍によって暗殺された。
- b サパタは農民軍を組織して農地改革を主張した。
- c カランサは農民と都市の貧困層を支持基盤とした。
- d カランサは1917年、大統領に就任した。
- e 1917年に制定されたメキシコ憲法は、大統領の強大な権限を認めた。

問3 下線部(ア～ウ)が描いた絵を選択肢(a～e)から選びなさい。

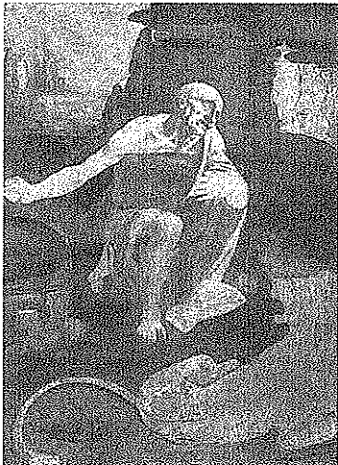
a



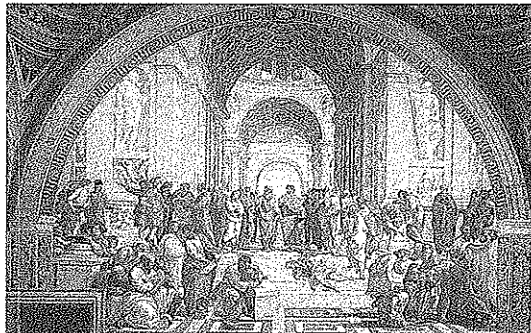
b



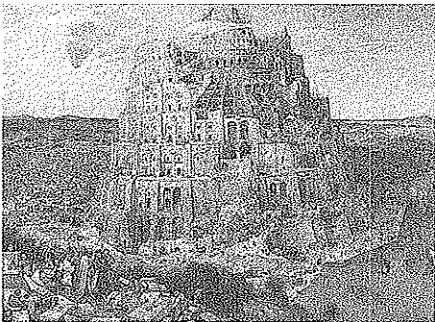
c



d



e



4 次の文章を読んで、後の問(1～11)に答えなさい。解答は選択肢(a～d)から、もっとも適切なものを1つ選びなさい。

近世の北欧や東欧では、諸国の覇権争いが繰り広げられた。そもそもこの地域では、14世紀末に(1)で結ばれた同盟によって発足した(2)連合王国のように、遠方の諸地域が王位継承に際して同君連合のかたちで結合する例が多く、国家として不安定であった。また、この地域の諸国は、西欧諸国のようにヨーロッパ外に植民地を持っていたわけではないので、ヨーロッパ内で互いの領土を奪い合うことになった。

北欧・東欧地域における近世初期の大国は、(3)語系のポーランドである。ポーランドは、隣国の(4)と14世紀に合体して(5)朝を作り、15世紀には最盛期を迎えていた。しかし、16世紀後半に(5)朝が絶えてから、ポーランドは(6)主体の選挙王政をとり、西欧の絶対王政とは異なる政治体制をとった。そして、17世紀後半の(7)で活躍した国王が出たりもしたが、相次ぐ戦争で財政が破綻し、中央集権化が遅れ、18世紀後半には国土が分割されることになった。

さて、16世紀前半に(2)の支配から独立していた(8)は、17世紀になると急速に力を付けた。(8)は、三十年戦争に参加してドイツ各地に領土を広げ、バルト海地域の覇者となった。しかし、18世紀には、バルト海への進出を狙うロシアを中心とする同盟に北方戦争で敗れ、その国際的地位が急速に低下した。

ヨーロッパのもっとも東に位置するロシアは、ビザンツ帝国の滅亡後、ローマ帝国の後継者かつギリシア正教の擁護者としての意識を強め、15世紀後半には、(9)の支配からも脱していた。16世紀の君主(10)は絶対王政の歩みを開始し、貴族を弾圧して王権を強化した。この(10)の死後、内紛が続いたが、17世紀初頭に始まった(11)で、農奴制と官僚制を柱とするロシア型の絶対王政が確立していった。そして、17世紀末に君主となった(12)は、戦争によって領土を拡大し、大規模な西欧化を行って中央集権化を進めた。

問1 空欄(1~12)に入れるのにもっとも適切な語は何か。

- (1) a オスロ b カルマル c コペンハーゲン
d ユトレヒト
- (2) a スウェーデン b デンマーク c ノルウェー
d リトアニア
- (3) a ウラル b ゲルマン c スラヴ d バルト
- (4) a ハンガリー b ベーメン c モルダヴィア
d リトアニア
- (5) a カジミエシュ b カージャール c ナスル
d ヤゲウォ(ヤゲロー)
- (6) a 貴族 b 郷紳 c 市民 d 聖職者
- (7) a シュマルカルデン戦争 b 第一次ウィーン包囲戦
c 第二次ウィーン包囲戦 d レバントの海戦
- (8) a スウェーデン b デンマーク c ノルウェー
d リトアニア
- (9) a イル=ハン国 b カザン=ハン国 c キプチャク=ハン国
d チャガタイ=ハン国
- (10) a イヴァン3世 b イヴァン4世 c ウラディミル1世
d ピョートル1世
- (11) a キエフ公国 b モスクワ大公国 c ロマノフ朝
d ロシア連邦
- (12) a イヴァン3世 b イヴァン4世 c エカチェリーナ2世
d ピョートル1世

問2 下線部(ア)に関して、17世紀半ばにオランダの植民地でも占領地でもなかったところはどこか。

- a ケープ植民地 b 台湾 c マカオ d マラッカ

問3 下線部(イ)出身でない人物は誰か。

- a ケプラー
- b コペルニクス
- c ローザ＝ルクセンブルク
- d ピウスツキ

問4 下線部(ウ)に関して、フランスの絶対王政を支えた軍事制度はどれか。

- a 国民皆兵制
- b 軍管区制
- c 従士制
- d 常備軍

問5 下線部(ウ)に関して、絶対王政を敷こうとして、国内のピューリタンやカトリックを弾圧し、ピルグリム＝ファーザーズのアメリカ大陸移住を引き起こした、イングランド王は誰か。

- a ジェームズ1世
- b ジェームズ2世
- c チャールズ1世
- d チャールズ2世

問6 下線部(エ)に関して、ポーランド分割は周辺国三カ国によって三回にわたって行われたが、うち一カ国は第二回分割に加わらなかった。その国が第二回分割に加わらなかった理由は何か。

- a フランス革命への対応に追われていたため。
- b 国内でプガチョフの農民反乱が起こったため。
- c 国内でコシュートを中心とする独立運動が起こったため。
- d ポーランド分割をしている他の二国と戦争をしていたため。

問7 下線部(オ)に関して、この戦争は宗教と政治が複雑に絡み合う国際戦争となったが、文中の(8)と敵対する陣営にいた人物は誰か。

- a ヴァレンシュタイン
- b グスタフ＝アドルフ
- c フリードリヒ＝ヴィルヘルム1世
- d リシュリユー

問8 下線部(カ)に関して、この戦いの中で、ロシアで起こったこと、ないしはロシアが行ったことは何か。

- a アゾフ海への進出
- b コシューシコの蜂起
- c ステンカ＝ラージンの反乱
- d ペテルブルクの建設

問9 下線部(キ)におけるロシアのこの意識に関して、誤っている説明はどれか。

- a この国の君主はビザンツ帝国最後の皇帝の従妹^{いとこ}と結婚した。
- b この国の君主は、ビザンツ帝国の紋章を継承した。
- c この国の君主はツァーリの称号を用いた。
- d この意識が、クリミア戦争での出兵の遠因となった。

問10 下線部(ク)に関して、ロシアで農奴解放令が出たのはいつか。

- a 1853年
- b 1856年
- c 1861年
- d 1878年

問11 下線部(ケ)の説明として、誤っている文はどれか。

- a 自ら西欧視察に赴き、大量の技術者を連れてきた。
- b 中国とネルチンスク条約を結んだ。
- c オスマン帝国と戦って、黒海に進出した。
- d ベーリングにアジア・アメリカ間を探検させた。

